

# 地域課題の解決に向けた取組

## ～低コストで効率的な森林整備の普及～

留萌南部森林管理署

### 1 はじめに

留萌南部森林管理署は、北海道北西部の日本海側に位置する1市3町（留萌市・増毛町・小平町・苫前町）に所在しており、市町総面積の過半となる約92千ヘクタールの国有林を管理しています。

留萌流域全体の森林率は83%と比較的高く、そのうち約2割がトドマツを主体とした人工林となっています。

戦後植栽された人工林が成熟を迎えつつある近年では、これまで間伐が主体であった民有林においても、国有林と同様に主伐期に達する人工林が大幅に増加することが見込まれています。

このため、伐採後の確実な再造林を含め一層低コストで効率的な森林整備の推進・普及が留萌地域の大きな課題となっています。

### 2 低コストで効率的な森林整備の普及

当署ではこれらの課題解決に向け、留萌振興局と連携し様々な取組を行っています。

#### ① 下刈2回刈の見直し

平成25年に、従来ひと夏に2回行っていた下刈りを1回に省略する試験地を設定し、植栽後3年間の植栽木成長量や草本類の植生高を調査してきました。

その結果、これまで画一的に行っていた2回の下刈りを1回に省略化しても植栽木の成長に影響がないことが検証できたことから地域林政連絡会議等での情報提供を通じ見直しの第一歩となったところです。

#### ② 一貫作業システムの普及



誘導伐・コンテナ苗にかか  
る現地検討会(平成26年)

留萌振興局や管内各市町村、森林組合、林業事業体、地元林業関係者を対象に平成26年に「誘導伐・コンテナ苗に係る現地検討会」を開催し、伐採・搬出と同時に地拵・植栽を行う「一貫作業システム」

の推進を紹介し、地拵・植栽のそれぞれの機械器具及び作業工程の特徴やメリットを説明し、効率的な森林整備の推進に向けた意見交換を行いました。

#### ③ 低密度植栽

平成28年にヘクタール当たり1500本、1000本の低密度植栽を実施しました。平成30年9月の現地検討会ではそれらの箇所での苗木が生育した結果と経費を比較し、育林コストの削減に向けた意見交換を行いました。

#### ④ コンテナ苗現地見学会

平成30年は、これまでの現地検討会で配布したアンケートで「過去に植栽したコンテナ苗植栽箇所を見学したい」との要望が多かったことから現地見学会を開催しました。



過去に植栽したコンテナ苗  
現地見学会(平成30年)

見学会では4年経過した苗木の平均成長量及び残存率等

について説明し、参加された方々にコンテナ苗のメリットである植栽作業の簡便さや植栽可能期間の長さ等について認識してもらうことができました。

### 3 おわりに

これまで、現地検討会等を通じて説明と意見交換を積み重ねることにより、森林整備の低コスト化の重要性と新しい技術への理解が深まったと思います。

引き続き、国有林が実施している森林整備の低コスト化・省力化、天然力の活用などの取組について、地域林政連絡会議や市町村森林整備計画実行管理推進チーム等各種会議を通じて市町村や民有林関係者へ積極的に情報提供と技術支援を行っていききたいと考えています。



市町村森林整備計画実行  
管理推進チーム会議